

国際連合
総会

A/HRC/38/NGO/66

管轄：一般

2018年6月7日

英語のみ

国連人権理事会

第38回目の会合

2018年6月18日－7月6日

議事項目2

国連人権高等弁務官の年次報告、国連人権高等弁務官事務所および事務総長の報告

協議資格をもつ非営利団体 Coordination des Associations et des Particuliers pour la Liberté de Conscience（自由と良心のための個人連携団体）により提出された文書

事務総長は経済社会理事会の決議（1996/31）に従い、提出された次の書簡を受理した。

[2018年5月25日]

※NGOが提出した言語のみで、編集を加えずに発行。

GE.18-09224(E)

恣意的な勾留 - 中国

0. はじめに

0.1. 信教の自由の問題を専門とする NGO として、キリスト教系新興宗教団体の全能神教会の信者に対する中国での恣意的な勾留の事例に注目して頂きたいと願う。

1. 歴史的な背景

1.1. 1989 年、中国では家庭教会（政府が活動を認可していないプロテスタント系の団体）と呼喊派と呼ばれる宗教団体を中心に宗教が復興した。同年、後に信者に全能神と同一視されることになる女性が、呼喊派の集会に参加するようになった。1991 年、この女性はイエス・キリストが発する権威と力強さに匹敵する言葉を発し始めた。大勢のキリスト教徒がこの女性の言葉を目にし、これこそが「耳のある者は、御霊が諸教会に言うことを聞くがよい」（ヨハネの黙示録 2:7、17）であると信じた。1993 年、このキリスト教徒たちは、この女性こそ神の受肉した存在であると同時に、イエス・キリストの再来であり、唯一の神である全能神だと信じるようになった。そのなかには、後に同団体の運営責任者となる趙維山（ジャオ・ウェイシャン）氏もいた。1991 年に誕生したこの団体は、全能神教会と呼ばれるようになる（東方閃電とも呼ばれる）。全能神教会は、神が女性となって現代に復活したと指摘するものの、女性の名前に関しては沈黙を守っている。一部の研究者は 1973 年に中国の北西部で生まれた楊向彬（ヤン・シャンビン）氏であると考えている。

1.2. 1990 年代半ば、呼喊派と全能神教会に対する激しい弾圧が行われた。それ以降、中国では全能神教会への厳しい迫害は続いている。2000 年、趙氏と楊氏は渡米し、翌年、政治亡命が認められた。以降、両氏はニューヨークから同団体を指揮している（Introvigne 2017a）。

1.3. 全能神教会によると、中国は聖書（マタイによる福音書 24:27）が言及する「東方閃電」として全能神が現れた場所であり、また、ヨハネの黙示録に登場する悪の「赤い大きな竜」が中国共産党およびキリスト教徒の迫害という姿で現れた場所である。中国共産党への批判は、中国で全能神教会が弾圧される理由の一つではあるが、全能神教会は赤い大きな竜が過ちにより自滅すると教えており、暴動や革命を支持しているわけではない。

2. 犯罪行為への非難

2.1. 全能神教会は、欧米の新興宗教の専門家による学術研究の対象になってこなかったが、2017 年以來、研究が活性化したのは、皮肉にも中国当局が理由だった。中国共産党とつながりを持つ中国の反邪教協會は、6 月に河南省鄭州市、9 月に香港で、数名の著名な欧米の研究者をセミナーに招き、邪教（「悪魔のカルト」と訳されることもあるが、実際には「異端とされた教え」を意味する）の概念を検証し、全能神教会への批判的な見方を示した。招待された研究者のなかに、この文書に署名した NGO（CESNUR）の代表者を務めるマッシモ・イントロヴィーニャもいた。中国の政府系メディア機関 KKNews が配信した記事が参考になる（KKNews 2017）。

2.2. 研究者との協議において、中国当局は通常どおり、全能神教会の信者が重大な犯罪を実行したとして同団体への弾圧を正当化した。しかし、とりわけ知名度の高い犯罪である、招遠市のマクドナルドで夕食をとっていた女性が殺害された 2014 年の事件に関しては、中国政府が提供した書類により、殺人犯が全能神教会の信者ではないことが証明されたのであった。殺人犯たちは実は別の宗教団体の信者であること、団体名に用いられている「全能神」は全能神教会が全能神と認識する人物とは別人であること、そして全能神教会とは関係がないことが分かった。実際に犯人たちは、趙維山氏が率い、中国共産党による弾圧を受けている全能神教会の信者でないことを明言している（Introvigne 2017b, Introvigne and Bromley 2017）。

2.3. 研究者たちが、全能神教会の犯行が疑われたその他の暴力や犯罪も調査した結果、同様に事実無根であると見受けられた（Folk 2017, Introvigne 2018）。

2.4. 中国政府が上述した犯罪が起きる数年前から全能神教会を弾圧していた点は注目に値する。これは弾圧の動機が、犯罪ではなく、中国共産党の思想とは相いれない全能神教会の教義であることを裏付けるものだ。

3. 法律の枠組み

3.1. 中国では全能神教会の信者たちは邪教を「利用」した罪で服役している。これは純粹に「良心の犯罪」であり、全能神教会が邪教に属するという事実を除けば、暴力などの違法活動が行われているわけではない。

3.2. 中国刑法の第 300 条は邪教の「利用」は犯罪であり、3 年から 7 年「またはそれ以上」の懲役刑の対象になると規定している（Permanent Mission

of the People's Republic of China to the United Nations and Other International Organizations in Vienna. n.d.)。中国の法廷の全ての判決がインターネット上で公開されているわけではないものの、数千の判決が公開されている。(1995年以降、邪教に指定) 全能神教会をはじめとする邪教の信者に対して、第 300 条を根拠に長期の懲役刑を言い渡した判決は多い(しばしば 7 年を超える)。これらの判決から「邪教の利用」が、あらゆる状況において「邪教の活動を行った」と解釈されていることが明らかになった。実際に、全能神教会の書物を所有する行為、または、他の人々を全能神教会に改宗させる試みは、第 300 条の懲罰の対象となる犯罪を裏付ける十分な証拠と見なされてきた(オンライン上の中国の判決 2014, 2017 を参照)。

3.3. 邪教は「宗教を語ることを通じ、または、迷信を交えた虚偽を捏造および拡散、もしくは別の手段を用いて、人々を混乱に陥れたり、欺いたりし(中略)、信者を管理し、社会に害を及ぼす違法組織」と法的に定められている(中華人民共和国最高人民検察院 2017)。実際には、この曖昧な定義は、邪教に指定されている団体とは、中国政府が定期的に更新する邪教のリストに含まれている団体を意味する。全能神教会は 1995 年以降、公表されている全ての邪教リストで取り上げられている(Irons 2018)。

4. 恣意的な勾留

4.1. 3 に記述したとおり、「邪教の利用」の罪(今回においては全能神教会)で逮捕され、有罪判決を受け、勾留された人々は、信教の自由を行使しただけで拘束されていることは明白である。

4.2. 添付資料 1 には「邪教の利用」、つまり信仰の実践と伝道を行っただけで全能神教会の信者が勾留されている事例をまとめている。各文書は要請があれば提出可能である。

4.3. 添付資料 2 に 2 件の代表的事例を記し、添付資料 3 と 4 は関係書類である。

以上、謹言。

2018 年 5 月 24 日 パリ

参考文献

- オンライン上の中国の判決（2014年7月31日、孫騰（スン・テン）氏など）。2014。2018年4月11日アクセス。https://bit.ly/2H6gu4j。
- オンライン上の中国の判決（2017年1月23日、シェ・グアンシェン氏など）。2017。2018年4月11日アクセス。https://bit.ly/2GqQf9n。
- Folk, Holly. 2017. “‘Cult Crimes’ and Fake News: Eye-Gouging in Shanxi.” *The Journal of CESNUR* 1(2):96–109. DOI: 10.26338/tjoc.2017.1.2.5.
- Introvigne, Massimo. 2017a. “‘Cruel Killing, Brutal Killing, Kill the Beast’: Investigating the 2014 McDonald’s ‘Cult Murder’ in Zhaoyuan.” *The Journal of CESNUR* 1(1):61–73. DOI: 10.26338/tjoc.2017.1.1.6.
- Introvigne, Massimo. 2017b. “Church of Almighty God.” *Profiles of Millenarian & Apocalyptic Movements*, Center for the Critical Study of Apocalyptic and Millenarian Movements. https://censamm.org/resources/profiles/church-of-almighty-god.
- Introvigne, Massimo. 2018. “Captivity Narratives: Did The Church of Almighty God Kidnap 34 Evangelical Pastors in 2002?” *The Journal of CESNUR* 2(1):100–110. DOI: 10.26338/tjoc.2018.2.1.6.
- Introvigne, Massimo, and David Bromley. 2017. “The Lü Yingchun/Zhang Fan Group.” *World Religions and Spirituality Project*. 2017年10月16日アクセス。https://wrldrels.org/2017/10/16/lu-yingchun-zhang-fan-group.
- Irons, Edward. 2018. “The List: The Evolution of China’s List of Illegal and Evil Cults.” *The Journal of CESNUR* 2(1):33–57. DOI: 10.26338/tjoc.2018.2.1.3.
- KKNews. 2017. 『反邪動態』 美國、義大利專家赴鄭州進行反邪教學術交流』 2017年7月11日。 https://kknews.cc/society/rrr2m8o.html.
- Permanent Mission of the People’s Republic of China to the United Nations and Other International Organizations in Vienna. n.d. “Criminal Law of the People’s Republic of China.” https://bit.ly/2Hvjg0.
- The Supreme People’s Procuratorate of the People’s Republic of China. 2017. “关于办理组织、利用邪教组织破坏法律实施等刑事案件适用法律若干问题的解释。” January 25. https://bit.ly/2P9VnRn.

国連の公式サイトで確認できます https://undocs.org/A/HRC/38/NGO/66